

内閣総理大臣杯第57回日本社会人ゴルフ選手権九州予選

第45回九州社会人ゴルフ選手権

第2回マンデーゴルフトーナメント

【と き】2026年7月14日（火）

【ところ】ザ・クラシックゴルフ倶楽部

＜主催＞スポーツニッポン新聞社

＜後援＞九州ゴルフ連盟、毎日新聞社

＜協賛＞アサヒビール、住友ゴム工業

本競技は（公財）日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則（2023年1月施行）と、このローカルルールと競技の条件を適用する。これらの追加・変更については競技に適用される競技規定やプレーヤーへの注意事項を確認のこと。下記に参照するローカルルールの全文については2023年1月発行の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること。別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則18.2）
アウトオブバウンズは白杭または白線で定める（定義「アウトオブバウンズ」参照）。
2. ペナルティーエリア（規則17）
レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線をもって、その限界を標示する。
 - (a) ペナルティーエリアの限界が片側だけ定められている場合、そのペナルティーエリアは無限に広がっているものとみなす。
 - (b) ペナルティーエリアの限界の一部がアウトオブバウンズの境界で定められている場合、その限界はアウトオブバウンズの境界と一致する。
 - (c) 5番ホール、16番ホールにおいて、ペナルティーエリアにドロップゾーンが設置されている場合、プレーヤーは規則17に基づいて処置をするか、あるいは1罰打のもとに前方のドロップゾーンに球をドロップすることができる。ドロップゾーンは救済エリアであり、ドロップされた球はその救済エリアに止まらなければならない。
3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則16）
 - (a) 修理地
 - (1) 修理地は青杭もしくは白線、ロープで標示する。但し、青杭のみで白線、ロープの境界がない修理地においては、青杭が刺さっている同じ状態の区域を修理地とする。
 - (2) 張芝の継ぎ目：ローカルルールひな型F-7を適用する。
 - (b) 動かさない障害物
球洗器、ベンチ、砂箱、排水溝、給水栓、舗装道路、金網、マンホール、花壇、樹木の支柱及び人工の物件
4. 特定の用具の使用制限
 - a. 『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型G-1』を適用する。
 - b. 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型G-2』を適用する。
 - c. 『適合球リスト・ローカルルールひな型G-3』を適用する。
5. 規則10.3aは次のように修正される：プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。
ローカルルールの違反の罰；
 - ・そのプレーヤーはそうしたキャディーに援助してもらった各ホールに対して一般の罰を受ける。
 - ・違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

6. 規則 5.5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
7. プレーの中断（規則5.7）
- プレーの中断及び再開の通報は以下の通り。
- プレーの即時中断：カートナビで通告
- プレーの中断：カートナビで通告
- プレーの再開：カートナビで通告
- 注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。
8. スコアカードの提出
- スコアカードの提出はスコアリングエリア方式を採用する。
9. 競技終了時点
- 本競技では最終の成績掲示がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注 意 事 項

1. KING コースを OUT、QUEEN コースを IN とする。
2. 委員会は競技中を含めいつでも出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことがある。
3. プレーヤーはエチケット違反、または非行があった場合には制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則1.2aに基づいて失格とする場合がある。
4. プレーの進行に留意し先行組との間隔を不当にあげないように注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合はペナルティを課す。
5. 競技委員会は規則1.2bに基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
6. 練習は指定練習場にて行い、打撃練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1コイン（25球）を限度とする。
7. ローカルルールに追加、変更のあるときは、大会受付場所付近に告示する。
8. 会場となる倶楽部の服装規定を遵守すること。服装規定に違反があった場合、初回は注意し、着替えてもらうことが望ましい。改めない場合、競技委員会は競技中を含め、いつでも競技者の参加資格を取り消すことができる。
9. コース内は、携帯電話の使用をしないこと。
10. 競技中に発生した疫病や紛失、破損、その他の事故等に際し、主催、協賛、運営、後援、協力等の各団体は一切責任を負わない。
11. ティーマーカーは、緑色とする。

競技委員長